

学校施設のクラブ利用が進む、本物の“地域密着” ～クラブハウス設置、「地域交流室」で住民が喜ぶ教室～ （ひしのみクラブ・大分県大分市）

1. 「クラブハウス」を校庭の一角に設置

大分市の中心地区金池。近くに大分駅、県庁、市役所、デパート等があり県都としての地域機能を有しています。現在進行中の大分駅南再開発でこの地域も様変わりし、住民の住空間も変わりつつあります。そんな地域に大分市のモデルクラブとして誕生したのが「ひしのみクラブ」です。上野ヶ丘中学校区内に「クラブハウス」もあり、金池小学校も校区内にあります。



（平成22年3月2日 クラブハウス開所式）

2. 「思えば通ず」で交渉、3年の積立金と会員の労力で実現

クラブにはクラブハウスが必須です。いろいろなところにクラブハウス建設のためのお願いをしましたが、なかなかうまくいきませんでした。創設以来、「思えば通ず」の精神で交渉を続けた結果、平成22年3月に市教委や中学校の理解を得て、クラブハウス設置の思いがやっと叶い、上野ヶ丘中学校体育館横に「**クラブハウス**」が設置されました。3年間の積立金や会員自らカーペット張りやペンキ塗り、周囲の花壇づくりと自分の家以上に愛着を持つての誕生でした。



（健康ダンス教室）金池小学校体育館



（体操教室）金池幼稚園に出張

3. 住民が喜ぶ「バランスアップ教室」

大分市では中学校の建て替え時に「地域に密着した学校づくり」の一環として施設づくりにも一工夫をしていました。それで誕生したのが「**地域交流室**」です。休業日や夜間の管理が容易になるようにしました。この施設の完成がクラブの活動の幅を広げました。施設は独立した施設ではないために、現在は学校が直接管理していますが、週2回のクラブの事業(教室)や会議等でも活用しています。

クラブ誕生以来、クラブの魅力づくりとしてのプログラム開発に重点を置いてきました。特に、高齢者の健康づくり教室の一環として、当初、健康・体力づくり事業財団の補助事業を受託し開始しましたが、会員の強い要望を受けて「**バランスアップ教室**」として継続開催しています。



バランスアップ教室(地域交流室にて)

4. 高齢者の腰痛や引きこもりを予防する

地域の特性から高齢者や腰痛で苦しむ人々が増加しています。若い年代層は郊外の住宅地へ移り始めました。しかし、高齢者は地域に残ります。そんな人々をどうかして戸外に誘い出し、交流させることが課題だとクラブが乗り出し、学校と連携しながら実施しています。

講師は、カイロプラテクターの安藤隆弘氏が務め、体の構造に関する講義と運動実践を通して楽しく汗かくプログラムを実施しています。会場も「**地域交流室**」という素晴らしい環境でもあり、毎週水曜日が楽しみという高齢者が増えていますし、生活に楽しさや潤いを実感してもらっています。

(土谷忠昭 大分県クラブ育成アドバイザー)

【ひしのみクラブ プロフィール】

1. 設立 設立年:平成19年3月25日
2. 地域人口:13,341人(地域)
3. クラブ会員数:187名 予算額:260万円(平成22年度)
4. 連絡先 〒870-0832 大分市上野町4-5 上野ヶ丘中学校内
事務局長:平松義広
TEL・FAX:097-546-5557 Email:info@hishinomiclub.com